



2トーン・カラーと大きな扇形ダイヤルでスタイリッシュなNC-400

Feature

ナショナル社は「HRO」と「NC」シリーズが有名であることはご存じのとおり。「NC」シリーズは1936年代に製作された「NC-100」に端を発するシリーズで、ゼネラル・カバレッジ機、アマチュアバンド専用機のいずれも非常に多くの機種を発表している。「NC-400」はこのシリーズの真空管式受信機の最後の名機。主にFBIに採用されて使用され、ダイバシティ仕様ということもあり、各局部発振器の外付け端子およびIF出力端子が装備されている。メカニカル・フィルタのオプション使用を可能とさせていること、SSB対応としてのプロダクト検波の標準装備など数々の特徴を持ったレアで内容も伴った逸品。

Specifications

機種名	NC-400
メーカー	NATIONAL
製造年	1953-1963年
バンド	0.54-1.1/1.1-2.1/2.1-4.1/4.1-7.0/6.9-12.2/11.8-20.4/19.6-31.0MC 7BAND
形式	Single(BAND1.2.3.4) Double(BAND5.6.7)Conv
中間周波数	1720/455kc
フィルタ	LC/Xtal 0.5/1/2/3/4/6kc Option : Mechanical Filter
真空管数	18本, MT管
備考	アマチュア・バンド用スプレッド・ダイヤル付き(3.5-4.1/7-7.3/13.7-14.5/20.8-21.6/28-30Mc)

1. はじめに

この「NC」シリーズの真空管式受信機で最後の名機とでもいうべき「NC-400」は、1953-1963年に製作され、これ以後は半導体の製品に移行して行きます。この機種は主にFBIに採用されて使用されました。またダイバシティ仕様ということもあり、各局部発振器の外付け端子およびIF出力端子が装備されています。また、当時極めつけの特性を持っていたメカニカル・フィルタのオプション使用を可能とさせていること、SSB対応としてのプロダクト検波の標準装備など数々の特徴を持ったレアで内容も伴った逸品です。

2. ブロック・ダイアグラム

高周波増幅2段、中間周波増幅3段、低周波増幅2段構成で、シングル(0.54-7.0Mc)/ダブル(6.9-31.0Mc)スーパー・ヘテロダイン方式です。第1中間周波数は1720kc、第2中間周波数は455kcとなっています。